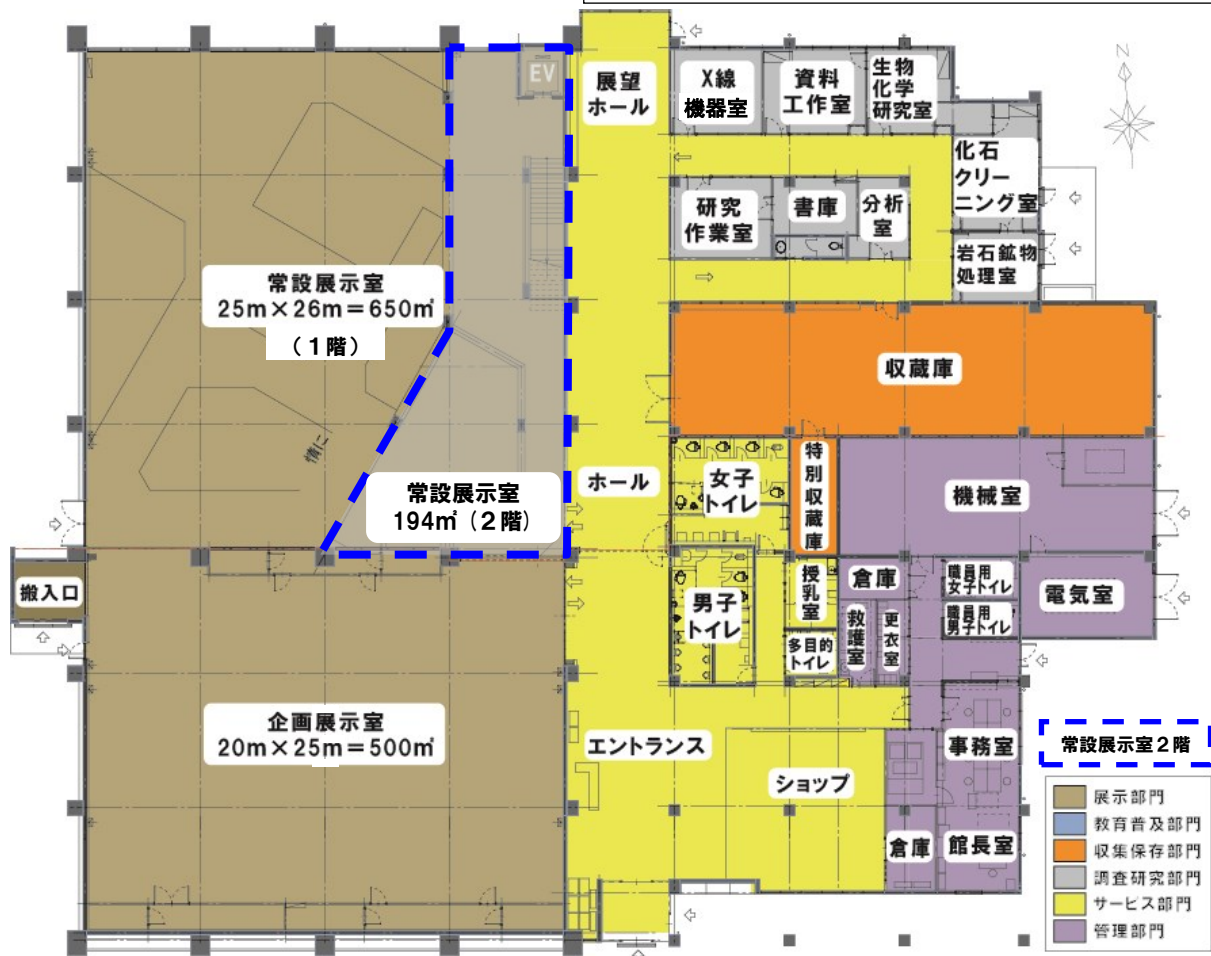


(仮称)長崎恐竜博物館 基本設計について

1 建築基本設計

(1) 平面図

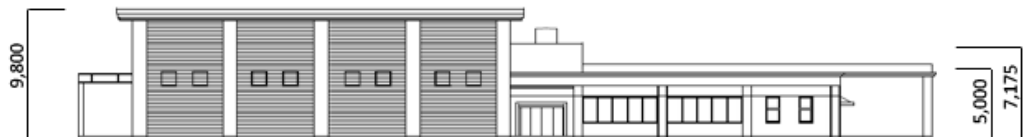
構造：鉄筋コンクリート造り一部2階建て
敷地面積：約4,400㎡



1階延床面積 2,342㎡、2階延床面積 194㎡、合計 2,536㎡

(2) 立面図

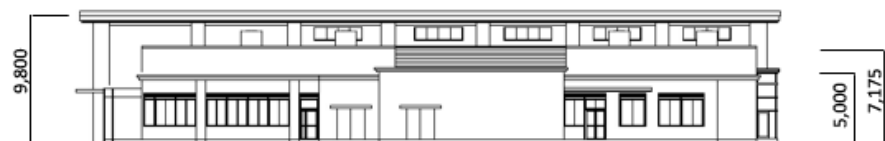
南側立面図



北側立面図



東側立面図



西側立面図



2 展示基本設計（常設展示イメージ図及びオープンラボイメージ図）

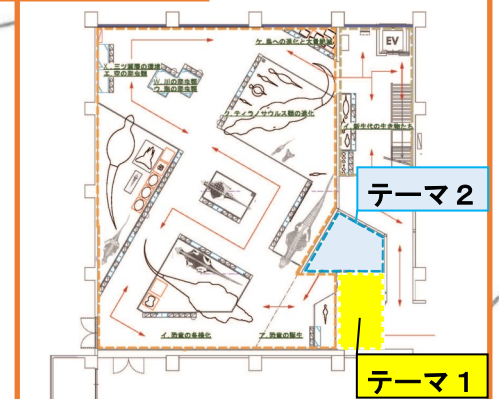
テーマ1 : 長崎の大地



特徴

地球の成り立ちを含め長崎の自然史について、地層をイメージするグラフィックや映像を配置

常設展示室 1 階



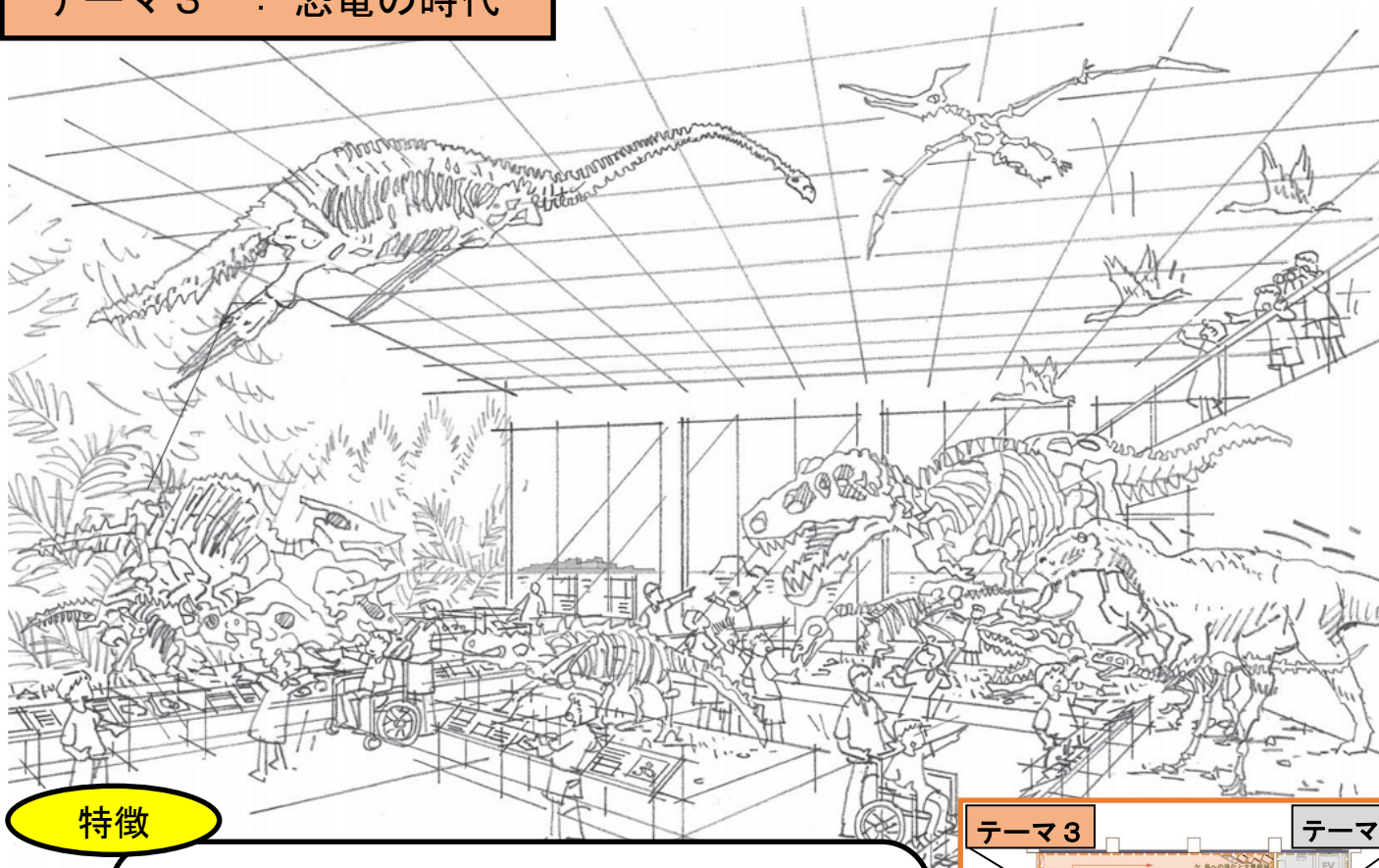
テーマ2 : 生命の記録



特徴

より分かりやすくするため、実際に手で触れる展示物を多く配置

テーマ3 : 恐竜の時代

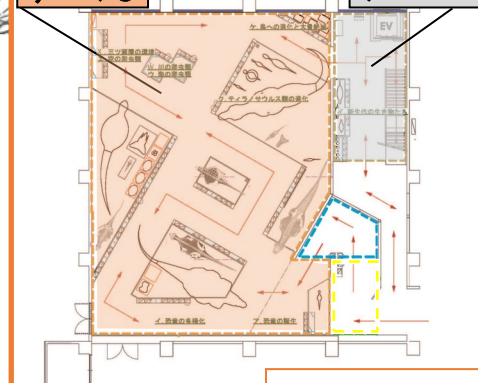


特徴

- ・メインテーマ「恐竜の時代」に入る際に、狭い通路から一気にひらける大空間で驚きを演出
- ・中心右側にある大型のティラノサウルスの骨格標本がオランダ・ライデン市にあるナチュラリス生物多様性センターから取得するトリックスのレプリカ

テーマ3

テーマ4



常設展示室1階

テーマ4 : 燃える石の時代



特徴

石炭の解説に、高鳥などを石炭が採れていた場所として海の景観を活用

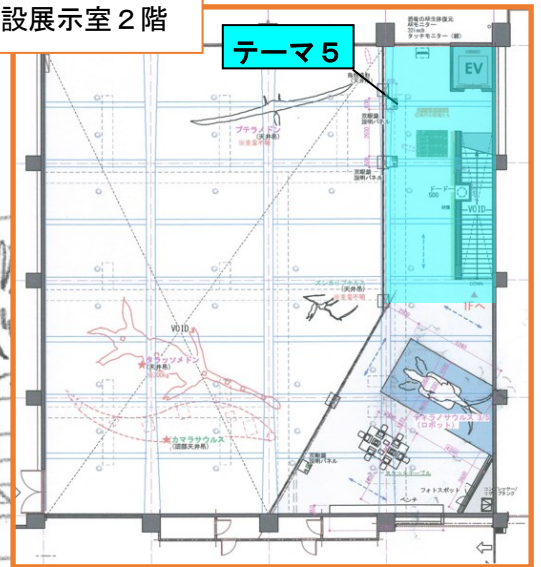
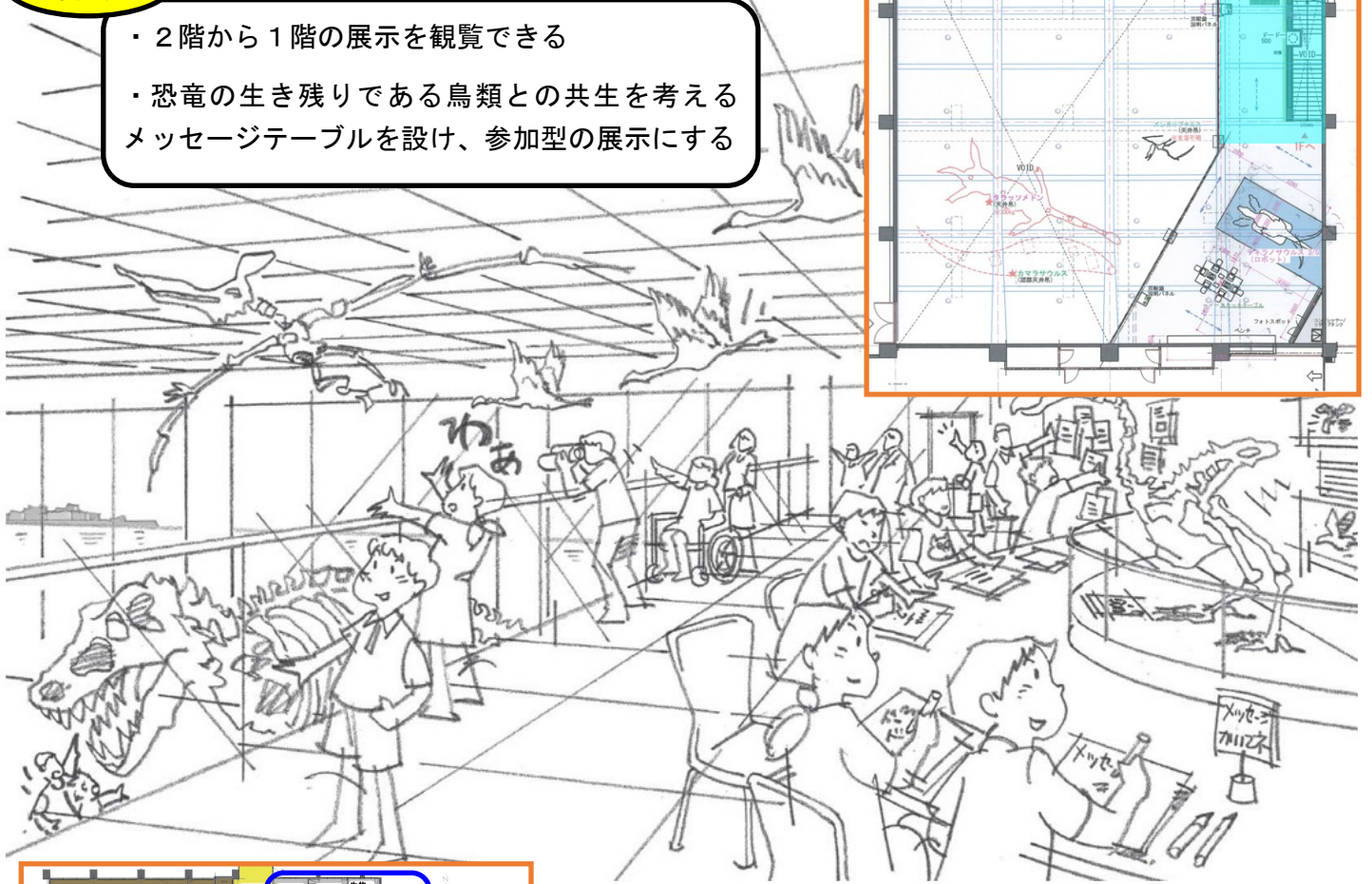
テーマ5 : 現代の恐竜たち

常設展示室2階

テーマ5

特徴

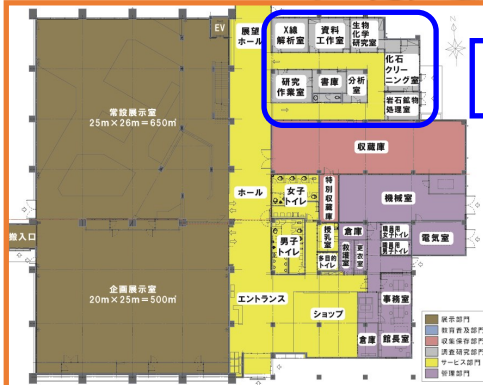
- ・ 2階から1階の展示を観覧できる
- ・ 恐竜の生き残りである鳥類との共生を考えるメッセージテーブルを設け、参加型の展示にする



調査研究施設を公開(オープンラボ)

特徴

調査研究にも興味をもてるように研究を紹介するための展示を配置



建物1階平面図



常設展示室全体イメージ図

